

津軽の国有林

令和8年度版



(津軽十二湖自然休養林(青森県深浦町))



国民の森林・国有林

津 軽 森 林 管 理 署

津軽森林管理署 金木支署

管理経営の基本は公益的機能の維持増進です

津軽森林管理署と金木支署にわたる津軽森林計画区では、岩木川、赤石川、追良瀬川及び笹内川流域に広がる約16万haの国有林を管理経営しております。

- ✦弘前市などの水がめ及び農業用水の供給源としての重要な森林の整備
- ✦白神山地世界遺産地域の貴重な自然環境の保全
- ✦津軽十二湖自然休養林、野外スポーツ地域岩木山・鱒ヶ沢スキー場などのレクリエーションエリアの活用
- ✦多様で健全な森林の整備・保全を推進することにより生物多様性の保全に配慮
- ✦木材の価格、需要動向を把握しながら木材の安定供給を推進



管理経営区域

✦津軽森林管理署

⇨弘前市・黒石市・平川市・鱒ヶ沢町・深浦町・西目屋村・大鰐町の国有林及び官行造林地
【3市3町1村】

✦金木支署

⇨五所川原市・つがる市・中泊町の国有林【2市1町】

機能類型にふさわしい 森林の取扱いを進めています

森林には、さまざまな機能があります。

私たちは、国土の保全や水資源のかん養、環境の保全など公益的機能の維持増進を重視し、各地域の森林を、それぞれが重点的に発揮させる機能によって山地災害防止タイプ・自然維持タイプ・森林空間利用タイプ・快適環境形成タイプ・水源涵養タイプに分け、適切な管理経営に努めています。

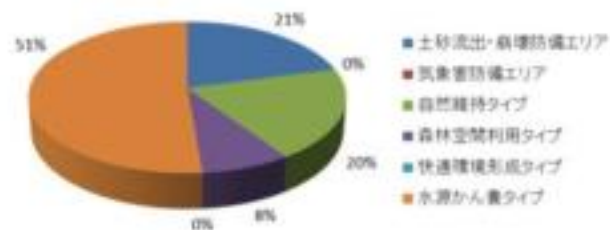
機能類型別国有林面積

	津軽森林管理署		金木支署		計	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合
山地災害防止タイプ						
土砂流出・崩壊防備エリア	26,815.02	21%	7,004.09	23%	33,819.11	21%
気象害防備エリア	0.00	0%	1,073.09	3%	1,073.09	1%
自然維持タイプ	25,316.47	20%	1,409.73	5%	26,726.20	17%
森林空間利用タイプ	10,435.62	8%	1,656.22	5%	12,091.84	8%
快適環境形成タイプ	0.00	0%	0.00	0%	0.00	0%
水源かん養タイプ	66,033.34	51%	19,793.52	64%	85,826.86	54%
計	128,600.45	100%	30,936.65	100%	159,537.10	100%

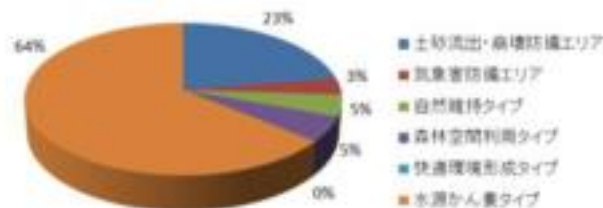
第六次国有林野施業実施計画書(R4. 4. 1～R9. 3. 31)による。

機能類型別面積

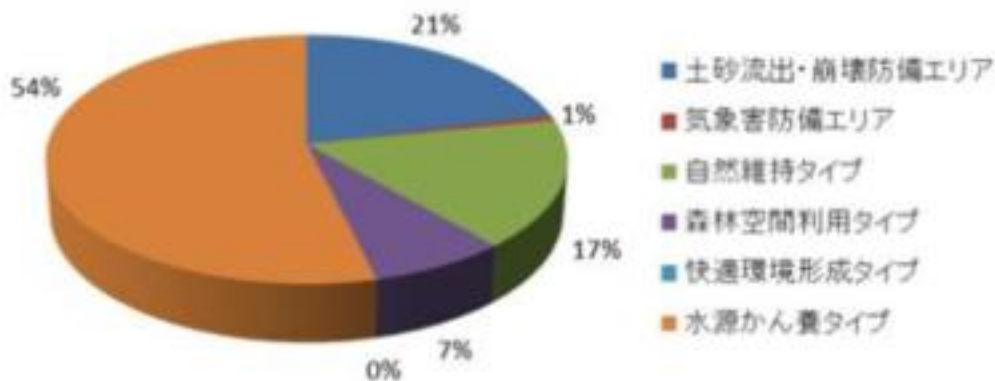
津軽森林管理署



金木支署



署・支署合計



森林の機能の維持増進のために さまざまな取組を進めています

保安林等の整備

土砂の流出・崩壊の防備や水源のかん養が特に求められる森林は「保安林」に指定し、良好な森林に整備しています。

当森林管理署・支署管内は、藩政時代から風・砂との戦いが行われてきた屏風山地域の約1千haの防風保安林をはじめ、全体の89%が保安林に指定されています。また、災害を防止するための「えん堤」を整備したり、崩壊地の植生を回復するための「山腹緑化」など、治山事業を推進しています。



寒水沢治山工事

レクリエーションの森の整備



世界遺産白神山地への入口

人と森林とのふれあいの場を提供するため、四季折々の自然の美しさを楽しむことができる自然休養林や野外スポーツ林などのレクリエーションの森を設定し、森林とのふれあい環境の整備をしています。

当森林管理署管内の白神山地世界自然遺産を含む「白神山地・暗門の滝」自然観察教育林が、平成29年に林野庁の「日本美しい森お薦め国有林」に選定されています。

保護林の指定

貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを保護林に指定し、その保護・保全に努めています。

当森林管理署・支署管内には、クマゲラ、ニホンカモシカ、ツキノワグマなどの生息地として、また、世界自然遺産として有名な白神山地森林生態系保護地域（約13千ha）のほか、9ヶ所約1.3千haの保護林の設定があり、保護・保全が図られています。



津軽峠から望む白神岳

森林整備と木材の安定供給



天然青森ヒバ

再生産可能な資源である木材を循環的に利用するため、自然条件等を勘案しながら、伐採と植林等を繰り返して、木材を安定的に供給できるように努めるとともに、保育作業（下刈・除伐・間伐等）をして、森林の整備をしています。

当森林管理署管内には天然青森ヒバが生育しており、青森県を代表する樹種の計画的かつ安定的な供給に努めています。

民有林行政と連携した取組を進めています

青森県林政連絡会の取組

青森県の国有林と民有林の林政を連携して進めるために「青森県林政連絡会」を設けています。この林政連絡会には、当森林管理署・支署のほか、青森県内の森林管理署、センター、青森県が参画して情報提供や意見交換をしています。



青森県林政連絡会

岩木川流域治水協議会の取組

近年の気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、岩木川流域において流域全体で水害を軽減させる治水対策、流域治水を計画的に推進しております。

この流域治水協議会には、国の機関、県及び岩木川流域に係る市町村が参画して協議・情報共有し対策を進めています。



昭和50年 土淵川 弘前市
(青森河川国道事務所提供)

「新しい林業」の実現に向けて

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を図る「新しい林業」の実現に向けて、下刈省略・筋刈等造林事業の低コスト化に取り組むとともに、管内の素材生産請負事業体を対象として、作業日報を活用した工程管理等による生産性向上の取組を実施しています。民有林を含めた地域に普及し木材生産力のアップを目指しています。



作業日報を活用して生産事業を工程管理

木材利用の推進

各種公共工事等に、間伐材等木材を積極的に活用するよう国土交通省をはじめとする関係行政機関に働きかけをしています。また、当森林管理署が行う治山工事や林道工事でも木材を積極的に活用するよう努めています。



間伐材を利用した治山工事

病虫害対策の推進

青森県内のナラ枯れは当署・支署管内を中心に民有林・国有林問わず被害が続いています。このため、被害が多い深浦町においては「おとり丸太法」を用いたカシノナガキクイムシの誘引捕殺によりナラ枯れ被害の抑制に取り組むとともに、被害木の監視・調査に努め、被害先端地では伐倒くん蒸等による駆除に取り組みます

また、深浦町において急激に被害が拡大している松くい虫について、監視・調査を行い、伐倒くん蒸による早期処理に努めます。



ナラ枯れ被害木のくん蒸
(青森県鱒ヶ沢町)

【青森県におけるナラ枯れ被害発生市町村】 (H22～R8 シーズン)



シーズンとは当年度の7月から翌年度の6月までの期間を指す。



おとり丸太法による誘引捕殺
(青森県深浦町)

【青森県における松くい虫被害発生市町村】 (H22～R7 シーズン)



シーズンとは当年度の7月から翌年度の6月までの期間を指す。



松くい虫被害木の伐倒くん蒸
(青森県深浦町)

市町村及び民有林の概要

津軽森林計画区は、弘前市など津軽地方14市町村にわたります。

流域内総面積は約34万haであり、森林面積が約21万ha、そのうち国有林は約16万haで総面積の約5割を占め、国有林比率が高い地域です。

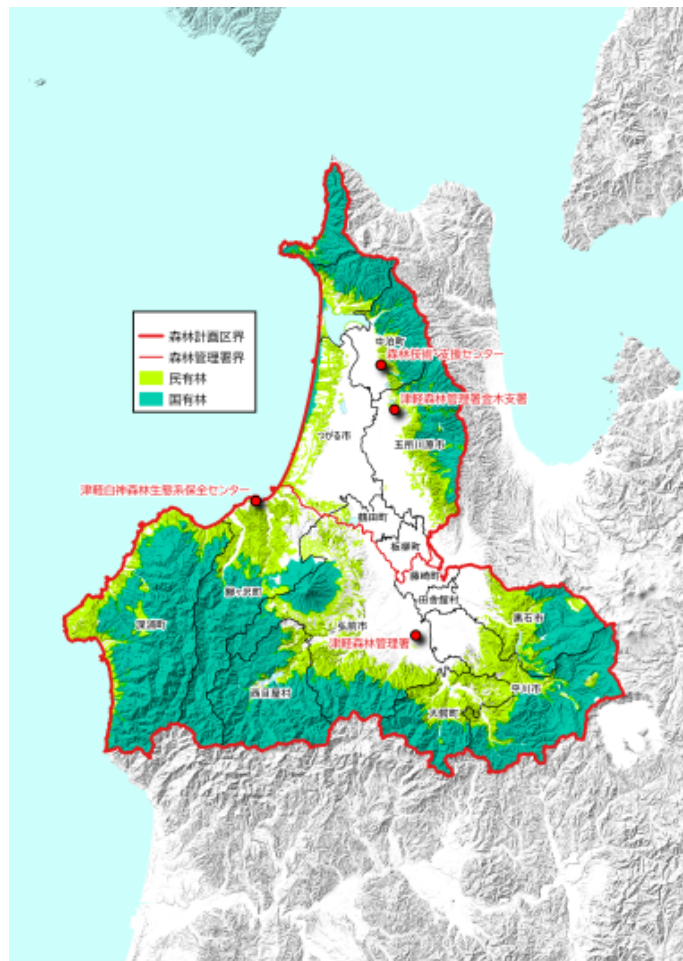
森林の現況

(単位：ha)

市町村名	区域面積	森林面積			森林率 (%)	市町村名	区域面積	森林面積			森林率 (%)
		総数	国有林	民有林				総数	国有林	民有林	
弘前市	52,420	23,534	14,979	8,555	45	五所川原市	40,420	21,779	15,778	6,001	54
黒石市	21,705	14,498	8,835	5,663	67	つがる市	25,355	3,890	922	2,968	15
平川市	34,601	25,923	20,247	5,676	75	中泊町	21,634	15,287	13,573	1,714	71
鱒ヶ沢町	34,308	27,051	19,225	7,826	79	鶴田町	4,643	119	0	119	3
深浦町	48,890	44,264	37,037	7,227	91	板柳町	4,188	0	0	0	0
西目屋村	24,602	22,610	20,365	2,245	92	小計	96,240	41,075	30,273	10,802	43
大鰯町	16,343	12,927	7,677	5,250	79						
藤崎町	3,729	0	0	0	0						
田舎館村	2,235	0	0	0	0						
小計	238,833	170,807	128,365	42,442	72	合計	335,073	211,881	158,638	53,243	63

* 区域面積、国有林面積、民有林面積、森林率は、津軽国有林の地域別の森林計画書(津軽森林計画区)【令和4年4月1日～令和14年3月31日】による。

【津軽森林計画区内の国有林及び民有林分布図】

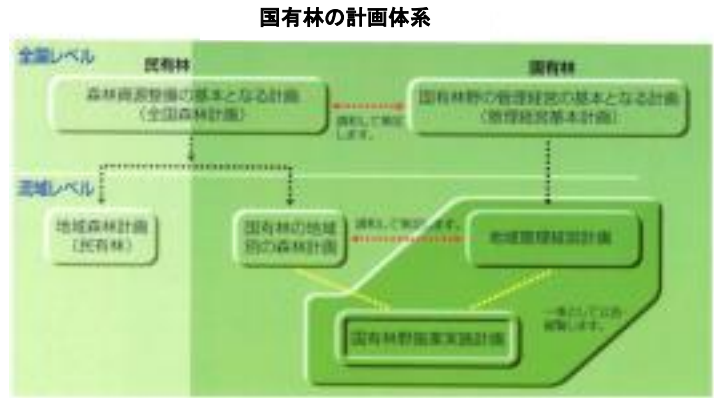


「国民の森林」にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

森林・林業に関する情報・サービスの提供

国有林の管理経営に当たっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆さんに開かれた管理経営を目指します。

このため、森林計画の案の公表、意見の聴取や管理経営状況の公表をはじめ、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めています。

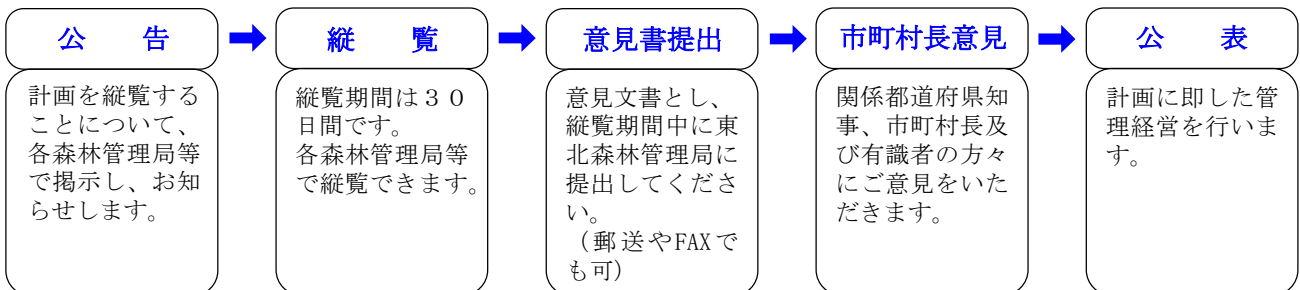


管理経営の計画

国有林の管理経営は、地域管理経営計画などの計画に基づいて行います。

計画の策定の際には、ホームページによる意見募集を行っているほか、公告、縦覧等により国民の皆さんや市町村など関係行政機関のご意見を予めお伺いし、反映するよう努めています。

計画策定の流れ (地域管理経営計画、国有林野施業実施計画)



ふれあいの森・遊々の森

国有林野では、「森林づくりに参加したい」「地球環境の保全に貢献したい」という声にお応えして、協定の締結によりボランティア活動のフィールドを提供しています。

森林環境教育の推進

当森林管理署では、地元小学生を対象とした森林教室(体験林業)を通じて、森林・林業の理解を深める活動も進めています。



丸太切り体験



自然観察(葉っぱ探し)

レクリエーションの森

当森林管理署管内の国有林には、特に訪れていただきたい森を「日本美しの森 お薦め国有林」として全国93箇所選定されているうち青森県内唯一の「白神山地・暗門の滝自然観察教育林」をはじめ、自然探勝や自然探求ができる自然休養林や自然観察教育林、登山やスキーなどが楽しめる野外スポーツ林、森林景観がすばらしい風景林などのレクリエーションの森が設定されています。

種類	名称	面積(ha)	主な内容	管轄(支)署等
自然休養林	眺望山自然休養林	350	ヒバ天然林と広葉樹の四季の色彩が美しく、自然探勝及び自然探求の場に適しています。	金 木 支 署
	津軽十二湖自然休養林	787	ブナを主とする広葉樹天然林と神秘的な湖沼の四季の色彩変化が美しく、自然探勝及びキャンプ等の場に適しています。	津軽森林管理署
自然観察教育林	津軽中里自然観察教育林	74	天然林と人工林からなる調和のとれた森林で、不動の滝・夫婦岩の名勝を抱える清澄な溪流など自然観察に適しています。	金 木 支 署
	白神山地・暗門の滝自然観察教育林	1,446	ブナを主とする天然林で、白神山地生態系保護地域。各峰からの眺望、森林と渓谷景観は特にすばらしく登山等に利用されています。	津軽森林管理署
野外スポーツ地域	岩木山・鱒ヶ沢スキー場	881	優れた雪質と豊富な積雪量を有し、日本海を望むスキー場です。	
	岩木山スキー場（百沢）	527	夏は登山・キャンプ・ハングライダー、冬はスキーと四季を通じて利用されています。	
風景林	くろくまの滝風景林	99	雄大な瀑布がすばらしく、四季折々の森林景観が美しく自然探勝の場として適しています。	

第六次国有林野施業実施計画書(R4. 4. 1～R9. 3. 31)による。



津軽十二湖自然休養林（鶏頭場の池と大崩）
（深浦町提供）



白神山地・暗門の滝自然観察教育林
（白神いざないツリー）
（日本美しの森 お薦め国有林）

自然環境の保護

世界遺産に登録されている白神山地をはじめ、優れた自然環境を有する森林の保護に努めています。

種類	名称	面積(ha)	主な内容	管轄(支)署等
森林生態系保護地域	白神山地森林生態系保護地域	保存地区 7,673 保全利用地区 4,954	ブナ林を主体とする原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等の目的で設定しています。 また、世界自然遺産にも登録されています。	津軽森林管理署
生物群集保護林	八甲田山生物群集保護林	1,192	天然林は、多様な動植物、微生物が生息・育成しており生物の多様性に富んでいる遺伝子の宝庫であることから、樹木等の遺伝資源を重点的に保存するために設定しています。	津軽森林管理署
希少個体群保護林	十三クロマツ遺伝資源希少個体群保護林	5	十三湖付近の明治32年に植栽した特別母樹林です。	金木支署
	矢倉山スギ遺伝資源希少個体群保護林	8	天然性スギの北限とされているスギ遺伝資源の保存をしています。	津軽森林管理署
	奥赤石ブナ遺伝資源希少個体群保護林	18	過去に施業を実施した形跡がなく、良好なブナ林を形成しています。	
	南追良瀬ウグイスカバ遺伝資源希少個体群保護林	6	地すべり地に発生した壮齢林で、ウグイスカバ・ドロノキの遺伝資源を保存しています。	
	太鼓山ネズコ遺伝資源希少個体群保護林	10	ネズコの遺伝資源を保存しています。	
	青荷沢ブナ遺伝資源希少個体群保護林	14	標高400m地点に位置し、比較的低地に残された老齢大径のブナ天然林として保護しています。	
	大鱒天然スギ・ヒバ希少個体群保護林	33	スギとヒバの天然木が混交する珍しい林況で300年近いスギとヒバの巨木が見物です。	
	遠部沢天然スギ希少個体群保護林	21	秋田スギの系統をくむ林分で、自然の推移に委ねた場合の変化を森林施業上の参考としています。	

第六次国有林野施業実施計画書(R4.4.1~R9.3.31)による。



白神山地森林生態系保護地域
(白神山地ビジターセンター提供)



大鱒天然スギ・ヒバ希少個体群保護林

令和8年度の管理経営の概要

木材の安定供給

一定の年齢（林齢）になった森林の整備を通じて生産される木材を計画的・安定的に供給します。
 なお、皆伐跡地には再造林を行い、森林資源の循環利用を図ります。

収穫量

（単位：千 m³）

区 分	主 伐			間 伐			合 計
	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	
津軽森林管理署	394	54	448	90	6	96	544
金 木 支 署	144	18	162	54	1	55	217
合 計	538	72	610	144	7	151	761

造林・保育作業の推進

伐採跡地に植栽し再造林を進めます。
 また、育成途上の人工林については、保育作業を積極的に実施していきます。

（単位：h a）

機 能 類 型		植付（新植）	下 刈	除 伐	除伐Ⅱ類	計
山地災害防止タイプ	津軽森林管理署		1.19			1.19
	金 木 支 署	5.80		4.68		10.48
水源涵養タイプ	津軽森林管理署	82.75	304.42			387.17
	金 木 支 署	26.83	47.33	7.53		81.69
自然維持タイプ	津軽森林管理署					
	金 木 支 署					
森林空間利用タイプ	津軽森林管理署					
	金 木 支 署					
快適環境形成タイプ	津軽森林管理署					
	金 木 支 署					
合計	津軽森林管理署	82.75	305.61			388.36
	金 木 支 署	32.63	47.33	12.21		92.17
	計	115.38	352.94	12.21		480.53

治山事業の実施

保安林の機能が十全に発揮されるように森林の維持、造成を通じて、山地災害から国民の生命、財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成を図る重要な役割を果たすため治山事業を実施します。

区 分	山地治山 施 設	防災林 造 成
津軽森林管理署	3 件	2 件
金 木 支 署		
合 計	3 件	2 件

路網整備

適切な森林の保全管理等を効率的に行うため、路網の整備を実施します。実施に当たっては、木材の活用や景観への配慮に努めています。

	新 設		改 良・災害復旧		修 繕	
	路線数 (本)	延長 (m)	路線数 (本)	延長 (m)	路線数 (本)	延長 (m)
津軽森林管理署	1	920	3	69	50	120,000
金 木 支 署			3	77	80	160,000
合 計	1	920	6	146	130	280,000

津軽森林管理署の姿

管理署の生い立ち(沿革)

当署管内国有林は、藩政時代津軽藩の直轄領でしたが、明治維新の藩籍奉還によって官林となりました。以来数次にわたる所管の変遷を経て農商務省となり、その後、以下のような改組が行われて現在に至っています。

- ❖明治19年 林区署官制が公布され、青森大林区署弘前派出所
- ❖明治23年 弘前小林区署に改称
- ❖明治27年 田代小林区署を統合
- ❖明治33年 湯口小林区署と目屋小林区署に分割
- ❖明治44年 弘前小林区署に改称
- ❖大正3年 目屋小林区署を合併
- ❖大正13年 営林局署官制が公布され、弘前営林署に改称
- ❖平成11年 国有林野事業の抜本的改革により、原則として1流域に1森林管理署を設置することとなり、弘前営林署を津軽森林管理署に改称

〔 ・流域面積が多いこと等から、金木支署を設置
ただし、当面の間、市浦、鱒ヶ沢、大鰐に事務所
深浦、黒石に森林管理センター、碓ヶ関営林事務所が管理経営する 〕

- ❖平成13年 市浦事務所、大鰐事務所及び黒石森林管理センター、碓ヶ関営林事務所を廃止
- ❖平成16年 鱒ヶ沢事務所、深浦森林管理センターを廃止



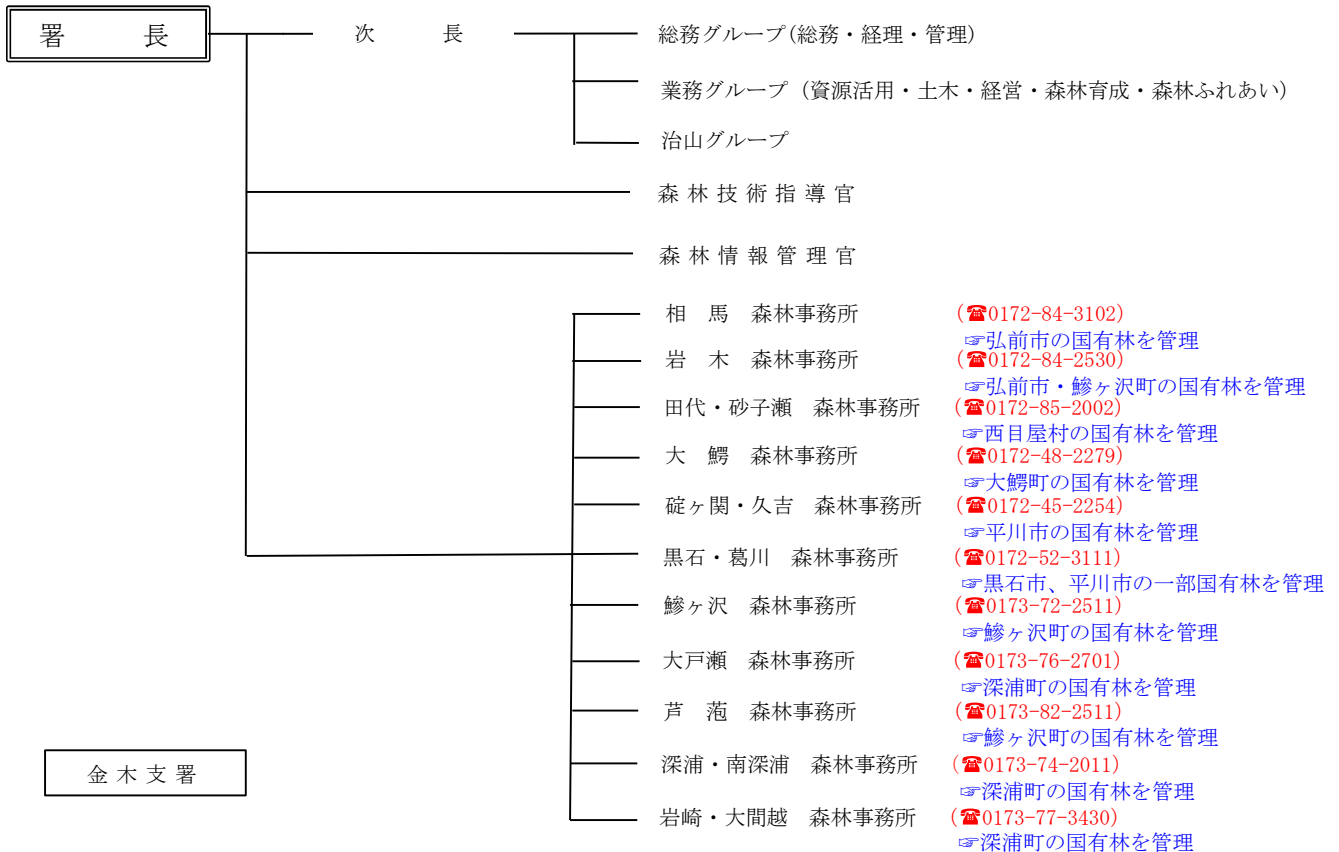
津軽森林管理署



津軽森林管理署金木支署

組織機構図

令和8年4月1日現在



❖各森林事務所の電話は留守電付きとなっていますが、急用の場合は各森林管理(支)署へご連絡ください。



(弘前市から望む岩木山とりんご畑)

問い合わせ

津軽森林管理署

〒036-8101

青森県弘前市豊田2丁目2-4

電話 0172-27-2800

IP 050-3160-5870

(ホームページアドレス)

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugaru/index.html>



金木支署

〒037-0202

青森県五所川原市金木町芦野200-498

電話 0173-53-3115

IP 050-3160-5875

(ホームページアドレス)

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/kanagi/>

